

**第3回定例議会(8/27~9/18)開催されます**  
**なす ほか議員一般質問:8月30日午前10~12時**  
 \*九州北部豪雨災害対策、子育て支援等質問を行います。  
 \*傍聴席は議会棟5階です。傍聴にお出かけください。

**九州北部豪雨災害関連事業に約24億円**  
 ~財源は国県9.8億円、財政調整基金5億円等~

A:被災者救援、災害復旧関連(25事業)	2,085,449
①災害対策本部設置経費	29,500
②住居等の土砂等撤去経費	191,200
③災害ごみ処分経費	192,400
④被災家屋の消毒経費	10,800
⑤災害ボランティア経費	3,500
⑥農地等災害復旧事業	1,317,916
⑦公共施設(道路・公園・学校等)災害復旧事業	326,700
⑧融資に対する利子補給	5,818
[債務負担行為設定](期間)平成25年度~平成29年度 (限度額)貸付利息の①100%以内②70%以内	
ほか	
B:被災者生活支援等(9事業)	237,280
①福祉避難所設置経費	15,780
②被災住宅応急修理・民間賃貸住宅借上げ経費	89,800
③生活必需品、学用品等の支給経費	20,530
④災害見舞金、畳替え経費助成	6,580
⑤災害援護資金貸付金	100,000
ほか	
C:防災対策関連等(5事業)	71,388
①防災関連警報システム整備経費	10,000
②緊急告知ラジオ購入経費	4,488
③排水機場遠隔監視システム設置経費	52,400
[債務負担行為設定](期間)平成25年度(限度額)63,600	
ほか	

単位:千円

※被災者への生活  
 再建に向けた制度  
 については、被災  
 者の実態に見合わ  
 ないものもあり、  
 制度の拡充や新設  
 が求められます。  
 この点について  
 は、なすほか議  
 員の一般質問で取  
 り上げ、回答など  
 も含めて今後お知  
 らせする予定で  
 す。

計 39 事業

**少ない熊本市災害見舞金の増額・拡充を!**

旧植木町時代は全壊 20 万円、半壊 10 万円見舞金を支給

九州北部豪雨災害被災者の皆さんに心からお見舞い申し上げます。  
 今回の災害は、避難指示の遅れなどもあり、被災者の方々は、非難するのがやっ  
 とで、住居被害のほか、家具、日用品、車などの流失など甚大な被害を受けてい  
 ます。日本共産党の「聞き取り調査」の中では、根本的な防災対策と共に、床下世  
 帯への支援策の拡充や「早急な現金支給」の要望が多く出されました。

熊本市災害見舞金は、5 千円~2 万円と低額であり、増額や床下浸水世帯への  
 支給など拡充が求められます。福岡県みやま市では、床上浸水全世帯に見舞金  
 が10万円支給される予定です。旧植木町では、全壊20万円、半壊10万円の災  
 害見舞金が支給されていました。全国からの義援金は、8月末に支給が開始され  
 ます。国の被災者生活再建支援金の申請受け付けも行われています。

熊本市の災害時支給額		
	災害見舞金	義援金
①全壊・流出	2万円	10万円
②半壊	1万円	5万円
③床上浸水	5千円	2万円
④床下浸水	0	5千円

**熊本市の家屋被害状況**

(8・17現在)

**全壊:86棟、半壊:136棟**  
**床上浸水:331棟**  
**床下浸水:493棟**

【控え室から】  
 「いじめ」と「競争社会」

なすほか

「いじめ」と「競争社会」  
 昨今、「いじめ」と自殺を巡る問題が改めてク  
 ーブアップされています。いじめた側や学校側の  
 個々の課題はあるにせよ、教育全体の課題として  
 とらえることが必要だと考えます。神戸女学院大  
 学の内田樹名誉教授は、滋賀県大津市でのいじめ  
 について、「学校と教育委員会が学校教育をコント  
 ロールできていないということではなく、『コン  
 ロールする』ということが自己目的化して、学校  
 が「子供の市民的成熟を支援する」ための次世代  
 育成のためのものだということをみんなが忘れて  
 いる」と指摘し、「いじめ」というのは教育の失敗  
 ではなく、むしろ競争教育の過程で生まれてしま  
 うものと、厳しく指摘をしています。  
 競争主義が教育現場に持ち込まれ、相対的な優  
 劣を争う環境のもと、子どものなかに、自らを高  
 める努力よりも、級友を無気力にすることを合理  
 化・正当化する気持ちが生まれてくるのは当然の  
 結果です。そのことが、今日の「いじめ」をつく  
 りだす一つの原因になっているように思います。  
 いじめを隠ぺいする学校の対応も、学校同士の競  
 争主義が生んだ産物です。  
 教育に限らず、社会全体においても「過度な競  
 争主義」が生み出す弊害について、一度立ち止ま  
 って考える必要があるのではないのでしょうか。

日本共産党 市議会だより

発行:日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすほか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム: <http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO. 814

2012年8月26日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: [kumamsu@gamma.ocn.ne.jp](mailto:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp)

# 「少ない年金では払えません!」払える国保料への引き下げを!!

## 国保料引き上げ等で累積赤字は20億円減少

熊本市の国保会計は、11年度の国保料の引き上げや一般会計の繰り入れ増額により、累積赤字は73億円から53億円に減少しました。一方では、国保料は家計の負担の限界を超えており、引き下げは、多くの市民の願いです。

## 力を合わせて、いのち・健康を守る国保制度へ!

8月17日の市民連主催の「国保改善を求める要望・懇談会」では、国保料の引き下げや特定検診無料化などを求める切実な声が出されました。

これまでも、「国保をよくする会」等の度重なる懇談で、3か月短期証がなくなり、6か月となり、保険証の窓口「留め置き」をなくするなどの改善が図られました。諦めないで、いのち・健康を守る国保制度のために、力を合わせましょう!

### 「国保改善を求める要望・懇談会」参加者の声

- \*障がい者を抱え、夫婦とも年金暮らし、介護保険料も上がり、医療費が月に1万円かかる。病院に行くのも辛抱している。障害者の減免制度などをつくり、国保料を下げしてほしい。
- \*200万円の年金で、国保料は15万6千円。せめて5千円の引き下げをしてほしい。
- \*子どもや障がい者の国保料負担（応益割）を半分にするなど、独自の減免制度をしている自治体がある。熊本市でも検討してほしい。
- \*視察した宇土市では、今年から特定健診を無料化し、40%の受診率を目指している。無料になり、これまで受診していなかった人が健診を受けている。「早期発見・早期治療」のためにも、熊本市でも健診無料化をしてほしい。(無料化に必要な予算は、2000万円程度です)
- \*人間ドックへの補助金を復活してほしい。
- \*国保法の44条に基づく「一部負担の減免制度」については、制度が市民に知らされていない。医療機関への周知・徹底をしてほしい。

## 国保料申請減免制度の更なる拡充を!

熊本市では、国保料の「申請減免制度」を08年度から1割減免(所得100万円以下で、3人以上世帯の場合)、10年度からリストラ減免(国の制度)、11年度から所得減少緩和(3分の1から5分の1減少へ)と拡充してきました。その結果、減免額は06年度2900万円だったのが、08年度は1億2000万円、10年度は4億円へと拡充してきました。

しかし、所得減少や国保料の引き上げにより、払いたくとも払えない世帯が増加し、収納率は87%と低迷しています。所得に関係なく負担する1人頭の保険料(均等割)が高いことが大きな原因です。

霧島市では、学齢期の均等割を2分の1にし、子育て世代に喜ばれています。愛知県一宮市では、身体障がい者(4級以上)、18歳未満の子ども、70歳以上への均等割の3割減免制度が実施されています。熊本市独自の1割減免制度の更なる拡充が大きな課題です。

## 資格証明書発行は大幅減少、発行0へ!

08年度649件あった資格証明書の発行は、現在70件へ大きく減少しました。担当者による訪問などでの対話を重視した結果です。「明確に支払う意思のない人」への交付とされています。さいたま市や広島市では、支給されておらず、更なる努力で、「発行0」を実現してほしいものです。



### 国保料「災害申請減免」の活用を!

今回の水害による「国保料の申請減免」が各区役所や龍田出張所で実施されています。

国保料減免75件、後期高齢者保険料減免77件の申請がありました。(8月15日現在) 床上浸水の程度や所得状況により10分の1~10分の7まで保険料が減免されます。どうぞ、ご相談ください。(市役所担当課 ☎328-2290)